

エラー

提供: ExcelPedia

式?や関数でよく発生するエラー

#DIV/0!

割り算で分母がゼロ

[Division By 0] の意味
(MS-Help 数式でゼロ (0) による除算が行われた場合に表示されます)

(例1)セルC1 に =1/0 と入力するとエラー値**#DIV/0!**が返る。

(例2)セルA2 に100、セルB2 に何も入力しないで、セルC2 に =A2/B2 と入力でエラー値**#DIV/0!**が返る。

(例3)セルA3 に100、セルB3 に0 と入力し、セルC1 に =A3/B3 と入力でエラー値**#DIV/0!**が返る。

#NAME?

関数名や範囲名が間違っている

[Unrecognized NAME] の意味
(MS-Help Excel で認識できない文字列が使われた場合に表示されます)

(例1)セルC5 に =sam(A5:B5) と入力でエラー値**#NAME?**が返る。 ← sumが正解

(例2)セルC6 に =sum(売上) と入力でエラー値**#NAME?**が返る。 ← 範囲名[売上]が定義されていない

(例3)セルC7 に =sum(A7C7) と入力でエラー値**#NAME?**が返る。 ← セル範囲のコロンを忘れてる

#NUM!

大きすぎる数値又は小さすぎる数値

[An invalid NUMber] の意味
(MS-Help 数式または関数の数値に問題がある場合に表示されます)

(例)

セルC11 に =10^309 と入力します ([^] はべき乗で [^] のキー)

セルA12 に 1979/4/14 と入力し、セルC12 に =DATEDIF(A12,2004/07/13,"y")でエラー値**#NUM!**が返る

セルA13 に 2004/07/13 と入力し、セルC13 に =DATEDIF(A13,"1979/4/14","y")のように開始日と終了日が逆でもエラー値**#NUM!**が返る。

#NULL!

指定した2つのセル範囲に共通部分がない

(例1)

=(A1:A30 B1:D1)

セル範囲「A1:A30」と「B1:D1」には共通するセルがないのでエラー値**#NULL!**が返る。

(=(C1:C30 B2:D2) の式であれば、「C1:C30」「B2:D2」の交点であるC2の値が返る。)

(例2)

=SUM(A1:A10 C1:C10)

この場合、二つのセル範囲には共通範囲がないのでエラー値**#NULL!**が返る。

(共通部分があればその共通部分だけが集計される)

#N/A

関数や数式に使用できる値がない
VLOOKUPなどで[検索値]がない又は[範囲]内に[検索値]が見つからない

[Not Available value] の意味

(MS-Help 関数や数式に使用できる値がない場合に表示されます)

(例)セルA21 からA25 にa からe と入力し、
セルB21 にc と入力し、セルC21 に =VLOOKUP(B21,A21:A25,1) と入力します。

これで正常ですが、

セルB21をクリアすると#N/A エラー ←[検索値]がない

セルb21 にz と入力すると#N/A エラー ←[範囲]に検索値が見つからない

間違いなく[範囲]にあるのに[検索値]が見つからない場合は

<http://www.excel.studio-kazu.jp/lib/e1tw/e1tw.html#N/a>

も参考にしてください。

#REF!

セルの参照がおかしい

[A REference to a cell that does not exist] の意味

数式中のセル参照 (セル参照 : ワークシートのセルの位置を表す座標。たとえば、列 B と行 3 が交わる位置のセル参照は、A1 形式では B3)

(MS-Help 数式中のセル参照が無効なときに表示されます)

(例)

セルA26 からA30 にa からe と入力し、セルB26 にbと入力し、セルC26 に =VLOOKUP(B26,A26:A30,2) と入力で#REF!エラー

(テーブル範囲がA列だけなのにB列の答えを要求している)

R1C1形式なのに、A1で指定している場合など

#VALUE!

引数の種類が正しくない

[Wrong type VALUE] の意味

(MS-Help 引数やオペランドの種類が正しくない場合に表示されます)

渡すべき引数の種類が正しくない、つまり、数値を渡すべきところに、文字列を渡しているなど。

(例)

セルA31 に 100 、セルB31 に a と入力し、セルC31に =A31+B31と入力します

セルA32 に 100 と入力、セルB32 にスペース を入力、セルC32 に =A32*B32 と入力でエラー値#VALUE!が返る

何らかの必要があって、セルの内容をクリアせずに、スペースを入れたことによってエラー値#VALUE!が表示される場合が多い。

#####

セルの幅が狭く結果を表示できない

次の要件を満たし、表示しきれない桁数の数値が入力された時に発生。

- ・ 手動で列幅を設定している
- ・ 書式設定の配置設定で[縮小して全体を表示する]が設定されていない

次のいずれかで回避できる。

- ・ [列幅]を表示できるサイズにまで広げる
- ・ [フォントサイズ]を調整する
- ・ 配置設定で[縮小して全体を表示する]に設定する

【参考】

表示形式[G/標準]

列幅標準設定

(整数部分11桁まで) 表示幅を自動調整して表示

(整数部分12桁以上) 乗数表示 (例: 1.23E+8)

(整数部分16桁以上) 表示幅を自動調整し入力された数値を有効桁数15桁で
[丸め]処理した上で乗数表示

- 列幅手動設定
 - (表示可能な桁まで) 表示可能な桁まで表示
 - (表示可能な桁以上) #####エラー

小数点以下の数値を含む場合には上記の整数部分の表示ルールを優先する。
 小数部分が列幅に収まらない場合は列幅維持が優先され、整数部分が表示可能な限りは小数部分が表示可能な桁まで表示上の[丸め]処理されて表示される。

表示形式[数値・通貨・会計]

- 列幅標準設定
 - (整数部分15桁まで) 表示幅を自動調整して表示
 - (整数部分16桁以上) 表示幅を自動調整し入力された数値を有効桁数15桁で[丸め]処理したものを表示
- 列幅手動設定
 - (表示可能な桁まで) 表示可能な桁まで表示
 - (表示可能な桁以上) #####エラー

小数点以下の数値を含む場合は[小数点以下の桁数]表示機能により小数点以下の表示桁数決定。

表示形式[日付]

- 列幅標準設定
 - (1900/1/0以降) 表示幅を自動調整して表示
 - (0未満又は2958466以上) #####エラー
- 列幅手動設定
 - (表示可能な桁まで) 表示可能な桁まで表示
 - (表示可能な桁以上) #####エラー

日付の場合では、列幅が標準でもオプションで「1904年から計算する」にチェックが入っていない場合は1900/1/0~9999/12/31、チェックがはいっている場合は-9999/12/31~9999/12/31の範囲を超えたシリアル値入力で#####エラーが発生する。

VBA(マクロ)で発生するエラー

実行時エラー6

- 実行時エラー '6' オーバーフローしました。

Integer 型で32767 を超えた場合など、定義された型の制限を超えた場合に発生します。

- 実行時エラー '9' インデックスが有効範囲にありません。

配列の定義数 を超えた場合などに発生します。

実行時エラー438

- 実行時エラー '438' オブジェクトは、このプロパティまたはメソッドをサポートしていません。

基本的に、開発時のバージョンと実行時のExcelのバージョン異なる場合などに発生します。

実行時エラー1004

- 実行時エラー '1004' Range クラスのSelect メソッドが失敗しました。

基本的に、セル範囲などを選択しようとしているときにそのシートが選択されていない場合などに発生します。

- 実行時エラー '1004' 'Cells' メソッドは失敗しました: '_Global' オブジェクト

基本的に、セルなどを選択しようとしているときにそのシートが選択されていない場合などに発生します。

- 実行時エラー '-2147417848 (80010108)' オートメーション エラーです。起動されたオブジェクトはクライアントから切断されました。

エラーでエクセルが立ち上がらない場合

Microsoft サイト

Microsoft Excel 2000/2002/2003 がエラーで機動できない場合の対処方法 (<http://support.microsoft.com/kb/883015/ja>)

「<http://localhost/mwiki/index.php/%E3%82%A8%E3%83%A9%E3%83%BC>」より作成

- このページの最終更新は 2009年11月9日 (月) 16:44 に行われました。